

公民館運営審議会委員が 改選されました

福生市の公民館運営審議会は10名の委員からなり、任期は2年、会議は毎月定期的に行われています。



本庄公巳
(第六小学校
校長)

小中学校校長会の代表として、この度公民館運営審議会委員として勤めさせていただくことになりました。

子どもたちの健やかな成長・育成は、学校教育だけではとうてい成しえませんが、保護者・家庭・地域・社会のみならずと手を携えながら、学校教育と社会教育の密接な融合のため、少しでも貢献できればと思います。



高崎賢啓
(公民館本館
利用者)

本館利用者連絡会から選出されました、高崎賢啓です。

今期で2期目になります。1期目では、公民館とはどういう施設なのか、社会教育とはどういう意味なのか、少しでも触れる事が出来ました。今期は、社会教育の意味をもっと学んでいきたいと考えています。また、公民館を利用していき、市民の皆さんの声を聞いていき、反映していきけるよう活動します。皆さんよろしくお願致します。



田中加代
(公民館本館
利用者)

公民館本館利用者連絡会の推薦を受け、今期また公民館運営審議会の委員をさせて頂くことになりました。

福生市公民館は市民の熱い要望から生まれて30年間、多くの方が講座に参加して学び、サークル活動も大変活発に行われています。公民館を取り巻く現状は厳しく様々な課題を抱えておりますが、市民の学習の場、文化活動の拠点として公民館がますます充実するよう、皆さんとともに考えていきたいと思っております。



吉岡 勇
(松林分館
利用者)

公民館松林分館利用者交流会より推薦をいただき、四月初旬に公民館運営審議会委員の委嘱状を教育長より授与され、改めて責務の重さをひしひしと痛感しております。公民館が市民にとって学習や文化活動の拠点としてますます発展することを目指し市民と公民館のパイプ役として



市川重一
(白梅分館
利用者)

して運営や事業に市民側の視点で、微力ながら誠心誠意努めていく覚悟です。

公民館白梅分館利用者交流会の推薦を受け、公民館運営審議会委員に再任されました。委員として活動、運営等について今まで以上の努力をしていきたいと感じています。

現在私は日本ゲートボール協会の認定する審判規則に従って、ルールの熟知と技術の向上、公平な審判を目指し努力しています。また、小中学校の週5日制授業実施に伴う、郊外活動の一助として、ゲートボールを取り上げ、練習に参加を呼びかけて青少年の非行防止に役立てようとしています。

公民館の近年抱えている様々な課題等について、微力ながらも取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



穴戸千里
(文化協会)

福生市文化協会の推薦を受け、再度公民館運営審議会委員をさせて頂く事となりました。

市民にとって公民館は身近な学習の場であり、また文化活動の拠点でもあります。より多くの市民が集い、利用できるような環境作りに協力し、



林 幸子
(シルバー人
材センター)

今まで学ばせて頂いたことを基として、微力ながら努めさせて頂きます。

2期目を努めます林です。住民のための公民館として、公民館で行われる学びが地域において活力となり、各住民が豊かな教養を身に付け、人格を高め郷土の生活を向上できるように力を注ぎます



岩田かほる
(社会福祉協
議会)

公民館は「市町村その他の一定区域内の住民のための、実際の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」と、社会教育法第20条に示されているように住民の集団活動・学習の拠点として、公民館は大変重要な役割を担っています。

住民の生活に根ざした福生らしい「公民館」の運営を委員の皆様とともに学習していけたらと思っています。



高水清安
(学識経験者)

公民館運営審議会委員として



朝岡幸彦
(学識経験者)

今期で3期目となります。教育機関としての公民館が抱えている課題の一つ一つ真剣に取り組みることが必要です。地方分権が進み教育の分野にも市場開放の波が押しよせてきています。委員として公民館の役割を様々な機会に市民に伝えていく大切さをより深く感じています。

公民館が地域課題に取り組む継続的な学習を創造し地域づくりの拠点となることで、市民とともに歩む公民館の存在を、より身近に市民に伝えられるはず。市民生活に継続的な学習を息づかせることが今後の課題です。公民館と市民をつなぐ役割として、公民館の活性化のために自己研鑽を重ね他の委員の方とともに努力してまいります。

五期目をお引き受けした公運審では、ぜひ公民館基本計画のような将来の公民館ビジョンを策定したいと考えています。とはいえ、計画策定の基本は上からつくるのではなく、下から積み上げていくものであるという事です。まず、サークルや分館が今後10年間どのような活動することが求められているのか、利用者や市民にとって公民館は何を期待されているのかそこから始めたいと思います。